

目次 Contents

- 3 特集 新春座談会・新春あいさつ
- 9 トピックス
2020年農林業センサス／民生委員
児童委員を委嘱
- 12 インフォメーション



小さな命をつなげるために

保護ねこピリカ代表
池田 恵子さん（49歳・佐野二）

「職場で捨て猫を保護してから8年。徐々に猫の魅力にとりつかれて、ボランティアに興味を持ちました」と話すのは、池田恵子さん。市内で唯一、保護猫の譲渡会を開催しているボランティア団体「保護ねこピリカ」の代表を務めています。池田さんは、以前は御殿場市の保護団体で活動していましたが、近所に野良猫が多いことが気になっていたこともあり、同じ気持ちを持つ仲間と共に保護団体を設立しました。「仕事をしながらのボランティア活動なので、できること



から始めて活動の幅を広げています。譲渡会のときは家族総出で取り組んでいます」と話します。

保護ねこピリカは、平成30年10月に設立され、平成31年3月から市内各地で保護猫の譲渡会を毎月行っています。現在、同団体が保護している猫は20匹ほどで、池田さんを含めたスタッフ3人の自宅でそれぞれ預かっています。「大変なのは、譲渡に向けて人に慣れさせる“一時預かり”です。猫によって慣れる期間がさまざまで、長いと1年以上かかりますが、譲渡が決まったときはうれしいです」と池田さん。

「1匹でも多くの命を救えるように、将来的には終生飼育ができる施設を造りたいです」と熱いまなざしで今後の展望を語ってくれました。



susonobito No.10

表紙 Front cover



チーム一丸の走りで10位入賞

11月30日(土)、しずおか市町対抗駅伝が静岡市内で開催されました。市の部26チーム、町の部12チームが出場。裾野市チームも郷土の誇りを胸に力走しました。チーム一丸となって懸命にたすきをつなぎ、10位でフィニッシュ。2年連続の入賞となりました。